

ほほえみ

第64号 2025年10月発行



独立行政法人 国立病院機構
七尾病院

〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3番地の1
TEL (0767) 53-1890 (代)
FAX (0767) 53-5771
ホームページ <https://nanao.hosp.go.jp>



「南湾の朝」橋本義則（七尾美術作家協会会員）

理念 笑顔と誠実な医療を通じて世の中に貢献する

私達の信条

- 私達は、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接します。
- 私達は、国の担うべき医療を提供し、地域に親しまれる病院を目指します。
- 私達は、質の高い医療を提供し続けていくために日々研鑽いたします。
- 私達は、医療の進歩に貢献するために臨床研究を推進します。
- 私達は、互いに協力し、働きがいのある明るい職場作りに努めます。

目次

慢性咳嗽外来の臨床実績が論文になりました・・・	2
星つむぎの村「プラネタリウム」公演および「心魂プロジェクト」による公演のご報告	3
市民公開プログラムと メディカルオーケストラ金沢コンサートのお知らせ	4
虐待防止法に関する研修を実施しました	5
作品紹介	5

慢性咳嗽外来の臨床実績が論文になりました ～ 病態的診断手順に基づいて診断した慢性咳嗽の原因疾患と治療成績 ～



七尾病院 名誉院長 藤村 政樹

私が七尾病院に赴任するまでの30年間に、金沢大学呼吸器内科の気道疾患研究グループで咳嗽に関する研究を遂行して得られた成果を基に病態的診断手順を確立し、それを七尾病院に持ち込んで慢性咳嗽の診療を開始しました。病態的診断とは、それぞれの原因疾患の性質を専門的検査によって客観的に把握して診断することです。検査内容は、カプサイシン咳感受性検査（陽性はアトピー咳嗽）、メサコリン誘発咳嗽検査（陽性は咳喘息）、気道可逆性検査（陽性は気管支喘息）、メサコリン気道過敏性検査（陽性は気管支喘息）、喀痰炎症細胞検査、胸部画像検査（粘液栓陽性はアレルギー性気管支肺真菌症）、副鼻腔画像検査（陽性は副鼻腔炎）、喀痰検査、血液検査から構成されます。これらを2日間で実施します。

その診療実績を明らかにするために、2013年4月から2018年3月までの5年間に七尾病院を初診した慢性咳嗽患者298名について後ろ向きに調査しました。成績のデータ解析と論文の執筆は私の後任である金沢大学呼吸器内科・気道疾患グループの原丈介先生（現 埼玉医科大学）にお願いしました。

結果として、298名中289名で慢性咳嗽の原因疾患が診断できました。残りの9名では検査結果が全て正常であり、一般的に行われている治療的診断を実施しました。病態的に診断できた289名中10名は、治療途中で受診しなくなりました。十分に治療できた279名中271名（97.1%）で咳は完全に止まりました。咳が止まるまでの治療期間の中央値は5.8週間でした。この289名中83名は難治性咳嗽として他施設より紹介された患者でした。

289名の診断は、194名（67.1%）が複数疾患の併発であり、咳喘息（250/289）、アトピー咳嗽（103/289）、副鼻腔気管支症候群（140/289）が3大原因疾患でした。その他の稀な疾患として、咳優位型喘息、アレルギー性気管支肺真菌症、胃食道逆流による咳嗽、気管支漏がありました。

十分に治療できた279名中49名（17.6%）では、それぞれの疾患の標準的治療では咳が止まらず、追加の治療が必要でした。その内訳は、38名では抗真菌薬、10名では胃食道逆流症の治療でした。

以上の成績より、私たちが開発した病態的診断手順は慢性咳嗽の診断と治療を飛躍的に向上させたと言えます。

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39930670/>

星つむぎの村「プラネタリウム」公演および 「心魂プロジェクト」による公演のご報告

療育指導室 主任児童指導員 土屋 早紀

2025年度に入り、当院では2つの特別なイベントが開催されました。ひとつは、一般社団法人「星つむぎの村」によるプラネタリウム、もう一つは、昨年度に引き続きお越しいただきましたNPO法人「心魂プロジェクト」による公演です。

— 「星つむぎの村」によるプラネタリウム（5月9日実施） —

「星つむぎの村」のプラネタリウムは、1階病棟の患者さま、通所の利用者さま、2階から4階病棟の患者さまを対象に、3回に分けて実施されました。

会場では、宇宙や星空を身近に感じていただける特別な時間が流れました。参加されたみなさんに、ご自分の星座を尋ね、それぞれの星座について分かりやすく、ご紹介いただきました。

満点の星が映し出される中で、参加された患者さまやスタッフの心も癒やされ、普段の療養生活の中で新たな喜びを感じていただける貴重なひとときとなりました。病院という環境の中で、星空を身近に感じることができ、かけがえのない時間を過ごすことができたと思います。



— 「心魂プロジェクト」による公演（6月3日実施） —

今年度も「心魂プロジェクト」のみなさま（4名）をお迎えし、「能登半島・石川県 × 心魂 いっしょに進もうプロジェクト」の一環として心温まるパフォーマンスを実施していただきました。

1階病棟の患者さまおよび通所の利用者さまを対象とした公演は、療育訓練棟にて行われ、コロナ禍以降初めてご家族にもご参加いただくことができ、会場はたくさんの笑顔に包まれました。ソーラン節や、ドレミの歌、ディズニーメドレーなど多彩な演目で、患者さま・ご家族・職員が一体となって楽しい時間を過ごしました。また、体調の関係で会場にお越しになれなかった方々



には、お部屋を訪問していただき、リクエストに応じて歌や踊りを披露してくださるなど、温かな交流の場となりました。

さらに、2階から4階病棟の患者さまを対象にして、研修室にて公演を実施していただきました。患者さまが手拍子をしたり、手作りのうちわで応援するなど、終始和やかな雰囲気に包まれました。

いずれのイベントも、患者さんやご家族、そしてスタッフにとって心に残る素晴らしいひとときとなりました。ご来演いただきました「星つむぎの村」「心魂プロジェクト」のみなさまに、心より感謝申し上げます。

市民公開プログラムと メディカルオーケストラ金沢コンサートの お知らせ

このたび、「国立病院総合医学会」が金沢駅前の石川県立音楽堂コンサートホールで開催されます。これに合わせて、地域の皆様を対象とした市民公開プログラムが開催されます。

今回のテーマは「能登半島地震をこえて～地域の絆と命を守る力～」。能登半島地震の経験から得られた教訓を共有し、災害時に命を守る力について学びます。

また、医療従事者が奏でる「メディカルオーケストラ金沢」の演奏会も開催されます。

災害への備えの学びと心の安らぎを得られる貴重な機会です。皆様のご参加をお待ちしております。



第79回 国立病院総合医学会
市民公開プログラム

11/8 土

会場 石川県立音楽堂コンサートホール
入場無料/定員500名

第1部 ● 13:10～14:40

市民公開プログラム

能登半島地震をこえて

～地域の絆と命を守る力～



ISHIKAWA

司会
オーガナイザー
演者

阪上 学	独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
谷内江 昭宏	金沢大学 能登里山里海未来創造センター
近藤 久禎	国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局
津久井 進	弁護士法人 芦屋西宮市民法律事務所
稲垣 真一	石川テレビ放送株式会社 報道制作局 報道制作部

第2部 ● 15:05～15:50

メディカルオーケストラ金沢 コンサート

アンサンブルの楽しみを共有し医療者からの音楽によるメッセージをお伝えしよう。北陸の医療従事者を中心に2013年から活動を続けるオーケストラです。

♪ ショスタコーヴィチ作曲 祝典序曲
♪ モーツァルト作曲 ピアノ協奏曲「戴冠式」より第3楽章
♪ モーツァルト作曲「フィガロの結婚」より序曲、アリア「もう飛ぶまいそこの蝶々」
バリトン独唱 藤村和昌(賛助出演)
♪ ヨハンシュトラウス2世作曲 ベルシャ行進曲



●参加をご希望の方は、事前申し込みが必要です
参加に際しましては、市民公開プログラムやコンサートの内容の撮影、録音は固くお断りします。
参加予約は、右記のQRコードを読み取り、必要事項をご入力ください。

市民公開プログラム申し込みフォーム
https://www.entry-sys.net/form/79nms_sponsorship/79nms_sponsorship_fm7_10/input.php
国立病院総合医学会ホームページ
<https://www.congre.co.jp/79nms/>



虐待防止法に関する研修を実施しました

療育指導室 主任児童指導員 土屋 早紀

6月20日、全職員を対象に「障害者虐待防止法」に関する研修を実施しました。近年、障害のある方々の権利擁護や虐待防止の重要性がますます高まっており、医療現場における適切な対応が求められています。

今回の研修では、法の主旨や基本的な考え方、虐待の具体的な事例、気付きのポイント、そして、職員としての対応方法について、事例を交えながら解説しました。また、万が一虐待が疑われる事案が発生した場合の相談・通報体制についても再確認しました。

参加した職員からは、「日々の支援を振り返る機会になった」「普段からの言葉かけに気を付けていきたい」といった声が寄せられ、虐待防止の意識向上につながる研修となりました。

今後、虐待防止委員会を中心に、より一層の権利擁護に努めてまいります。定期的な研修や情報共有を通じて、職員全体の意識向上と患者さまが安心して療養できる環境づくりを推進していきたいと思っております。

作品紹介

ほほえみサロン（院内デイケア参加者）の作品です



10月秋

折り紙やちぎり絵を合わせて秋を表現しています。色合いもいいですね。



さざえ絵手紙

サザエの色合いやゴツゴツ感がリアルですね。

職員募集!

問い合わせ先

ご希望の方は、
お気軽にご連絡ください。

独立行政法人国立病院機構七尾病院
(0767) 53-1890 (内線1105)

- 作業療法士(常勤)
 - 医療社会事業専門員(常勤)
 - 事務補助者(非常勤)医療事務・一般事務
 - 療養介助員(非常勤)
- を募集しています

外来診療担当医表

外来受付時間 8:40~11:30 13:00~15:00

区分・時間	月	火	水	木	金	
呼吸器内科※1	午前	安井	安井	藤村	藤村	安井
	午後			藤村	藤村	
脳神経内科	午前	横地	木元	木元・橋井	森永	横地・森永
内科	午前	吉尾・泉谷	陳	橋井	森永	吉尾・泉谷
	午後	吉尾・泉谷	陳	橋井	森永	吉尾・泉谷
消化器内科	午前		陳			
小児科	午前	泉・瀬野※2	泉※2	泉	泉・瀬野	泉
	午後	泉・瀬野	泉	泉	押切・瀬野	
内科 (皮膚/形成)		井川※3 (13:00~17:00)	藤村啓 (10:30~15:00)	藤村啓 (10:00~11:30)		佐藤 (13:00~15:00)
ペインクリニック内科	午前	高澤	高澤・松島		高澤	高澤 松島(第1~第3)
	午後		松島(第2・第4)	高澤		松島(第4)
循環器内科	午前				田中	

※1 呼吸器内科の慢性咳嗽外来は予約診療となります。初診で診察ご希望の方は事前にお問い合わせをお願いします。

※2 小児神経・発達障害・てんかん外来の初診は予約制です。診察ご希望の方は事前にお問い合わせをお願いします。

※3 褥瘡診察で予約制です。診察ご希望の方は事前にお問い合わせをお願いします。

病院概要

■医療法病床 214床

■標榜診療科

内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、小児科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科



案内図



JR七尾線「七尾駅」下車
→北鉄バス【和倉温泉行】にて
(3.7km./約15分)七尾病院前下車
→徒歩5分(500m.)

※平日の午前中は坂下まで
病院バスの送迎あり



編集後記

市中では、震災後の復興を祈願しての、お祭りの復活がみられるようになりました。老若男女問わずが賑わう様子や、気合の入った祭事をみていると、こちらも元気をもらえます。屋台をまわると子どもの時は、小銭を握りしめ、何を買おうかワクワクした記憶が蘇ります。その横で「パパpaypayしてね～」と娘が一言。ジェネレーションギャップを感じました(汗)

地域医療連携室 医療社会事業専門員
近藤 洋平